

## 猪名川部会における委員発言に対応する資料

### ○猪名川総合開発事業余野川ダムについて

第6回猪名川部会（12/18 開催）において、松本委員から、「余野川ダムの予定地においてダム建設に伴う環境への影響等について事前調査が行われていると思うのですが、その報告のコピーをいただけないでしょうか？」という質問が出されました（資料2-3 補足参照）。

本資料は、この質問に対して河川管理者から提出された資料です。

# 猪名川総合開発事業余野川ダムについて

平成 7 年 4 月

建設省近畿地方建設局 猪名川総合開発工事事務所

## まえがき

猪名川総合開発事業は、淀川水系猪名川左支川余野川右支川北山川の箕面市下止々呂美地先に多目的ダムとして建設する余野川ダム及び猪名川下流部の伊丹市中村地先に建設される河川浄化施設を主要施設としているものであり、開発の進んだ都市河川である猪名川にとっては治水・利水上重要な事業です。

当事業における余野川ダムの湛水面積は70haであるため、閣議決定に基づく環境影響評価の実施対象（湛水面積 200ha以上の大規模なダム）ではありませんが、昭和51年から環境調査を実施してきました。

一方、余野川ダム貯水池周辺では大阪府において「水と緑の健康都市」として位置づけた土地区画整理事業の環境影響評価を実施する段階となっています。猪名川総合開発事業における余野川ダムについても、今後本格化するダム事業の一層の御理解を得るために、最近のデータも含めて環境影響調査の結果をとりまとめました。

本冊子「猪名川総合開発事業余野川ダムについて」は、「第1部 猪名川総合開発事業の概要」ならびに「第2部 余野川環境」の二部からなっています。

「第1部 猪名川総合開発事業の概要」は猪名川総合開発事業の余野川ダムの目的・概要ならびに必要性について記述しています。また、「第2部 余野川環境」では、国の示す環境影響評価の内容に準じて環境影響調査を実施し、学識経験者の御指導を受け、ダム建設にともなう周辺環境の現状と見通しについて記述しています。

さらに、本冊子を平成6年9月8日から10月7日までの1ヶ月の間、関係地域住民の方々に閲覧を行うとともに、9月9日には地元説明会を行いました。また、10月21日までの間に関係地域住民から御意見を聴取させて頂きました。今回の冊子では巻末に頂いた御意見に対する事業者の回答を添付しています。



〔余野川ダム建設予定区域（箕面市下止々呂美地区<sup>しもとどうり</sup>）の現況〕



〔余野川ダム完成予想図〕



〔分派堰設置予定区域（箕面市上止々呂美地区）の現況〕

# 目 次

## 第1部 猪名川総合開発事業の概要

1. 目 的 .....	1
1) 洪水調節 .....	1
2) 流水の正常な機能の維持 .....	1
3) 水 道 .....	1
2. 余野川ダムの概要 .....	3
1) 位置及び型式の選定 .....	3
2) ダムの諸元 .....	3
3) 貯水池 .....	3
4) 放流設備 .....	4
5) 導水施設 .....	4
3. 治水上の必要性 .....	10
1) 猪名川流域の現状 .....	10
2) 主要な洪水と被害 .....	10
3) 治水計画の経緯 .....	19
(1) 淀川水系工事実施基本計画 .....	19
(2) 総合治水対策 .....	21
4. 利水上の必要性 .....	23
1) 利水の現況 .....	23
2) 主要な渇水と被害 .....	25
3) 流水の正常な機能の維持 .....	30
4) 新規利水開発 .....	31